

研究名：バセドウ病眼症の頻度とリスク因子—未治療バセドウ病を対象とした後方視的検討—

1. 概要：

バセドウ病眼症のリスク因子として、喫煙、TRAb・TSAb高値、高齢、男性、甲状腺機能異常、重症度、CASの報告がある。しかし、本邦において治療の実態や予後を予測する大規模な検討は行われておらず、これまでの先行研究は小規模であった。このため、当院で診断された多数の未治療バセドウ病患者を対象に眼症治療症例の臨床的特徴を明らかにする。

2. 分担

- 1) 伊藤病院：研究全体の統括、データ抽出、解析
- 2) オリンピア眼科病院：データ抽出

3. 研究対象

- 1) 2011年伊藤病院初診未治療バセドウ病
- 2) 1) の解析結果を踏まえ2012年～2020年の症例について順次、解析を蓄積する。

4. 方法

- 1) 解析期間： 2020年4月より約1年
- 2) 解析方法： ①後方視的検討
②伊藤病院データベースより初診未治療バセドウ病の臨床データを抽出。
③オリンピア眼科病院で眼症治療症例を当院データとひもづけて解析。
④眼症治療の内容と頻度。
⑤バセドウ病内服治療中の眼症治療頻度をカプランマイヤー法で解析。
⑥比例ハザード解析によるリスク因子解析。

- 3) 統計処理 解析ソフトJMPを用いる。

5. 費用について

本研究の実施にあたり患者様への費用が生じることはありません。また特定の企業との利害関係はございません。

問い合わせ・連絡先 伊藤病院 内科医長 渡邊奈津子
電話 03-3402-7411 Fax 03-3402-7439